

< あなたの治療について >



血内 - D(皮下)-VMP (10c以降) - MM - q4w

今回の治療は、D(皮下)-VMP という治療法で、ダラキューロ (DARA) という注射薬を使用します。
ダラキューロは腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目にダラキューロの皮下注を行います。この治療を4週間(28日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~28日目
①	レナデックス レスタミン アセトアミノフェン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み
②	ダラキューロ (抗がん剤) 15ml/body	皮下注		

★注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。

◎起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

ダラキューロによる

- インフュージョンリアクション

◎特徴的な副作用について

ダラキューロにおける

- インフュージョンリアクション

「アナフィラキシー、鼻閉、咳嗽、悪心、気管支痙攣、低酸素症、呼吸困難」などの症状

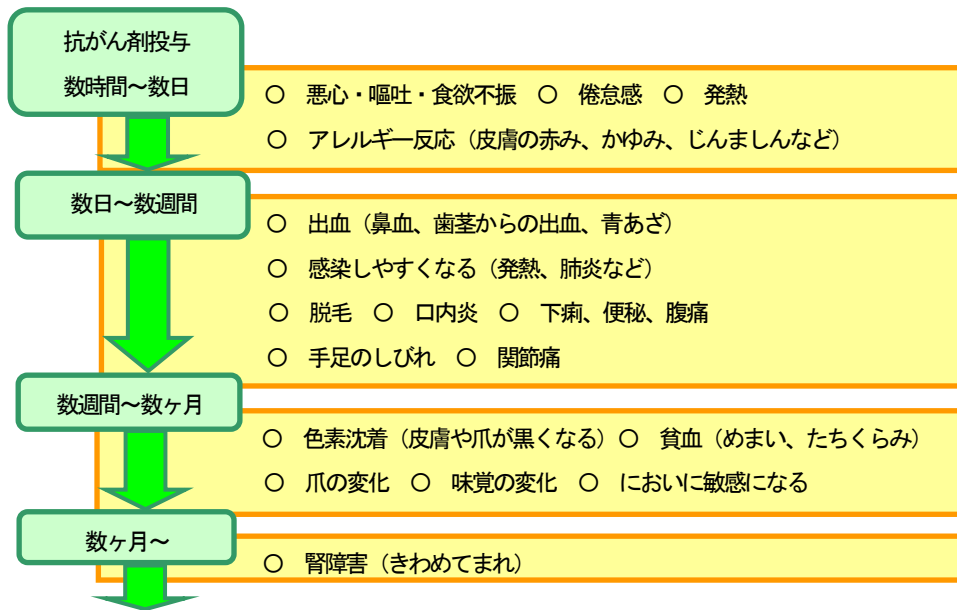
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ダラキューロ】

[インフュージョンリアクション] アナフィラキシー、鼻閉、咳、寒気、息切れ・息苦しい、吐き気、発熱、かゆみ、めまい

[骨髄抑制] 発熱、血便・血尿、あざ、出血しやすい

[感染症] 発熱、咳、痰、息切れ、食欲不振、全身倦怠感、吐き気、嘔吐、黄疸

[腫瘍崩壊症候群] 尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

[間質性肺疾患] 発熱、から咳、呼吸困難、疲労

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。